

(別紙様式2) 利用学習報告書

平成28年8月1日

仙台市富沢遺跡保存館 館長 様

仙台市立連坊小路小学校
校長 仲野 繁俊
担当 第6学年 明山 陽子

「縄文の森広場」利用学習報告書の提出について

表記の件について下記の内容で提出いたします。お取り計らい方よろしく申し上げます。

記

1 事後指導について

(1) 実施日

・平成28年6月23日(木)～7月1日(金)

*本校では高学年は教科担任制度を導入していますので、担当教員が各クラスの社会科の授業にて行いました。

(2) 主な学習内容

社会科の授業で事後指導を行いました。利用以前に学習した内容と、利用時に学習した内容とを合わせて「縄文時代の人々の生活について」を学年の児童が全員、グループ新聞にまとめました。

2 送付する資料

グループ新聞 (3枚)

3 個人情報保護との関連

提出した資料中の児童生徒名については、個人名は伏せております。お取り計らい方よろしく申し上げます。

担当：第6学年 教諭 明山 陽子
TEL 022-256-6384 FAX 022-792-8602
Email renbow@sendai-c.ed.jp



縄文新聞

発行日 6月22日

人々の暮らし

縄文の森九場のガイダニ入地にム
 の模様が有ります。その模様は、
 お父さんたちび土器をつくる土器
 ほ、たり、お母さんたちが土器焼き
 をしたりする様子を確認できます。
 そのほかに、当時の生活の様子があ
 る模様がたくさんあります。



勾玉の作り方

縄文の森九場は、いそくに勾玉作
 りの前にレンガと石がありました。
 おしえてもらいました。まず石に
 形を書き、そこをレンガでけずりま
 やすりのザラザラしている所を表に
 ぼけすれない所をけずります。
 ツルしているやすりの上に水をつけ
 す。丸にひもを通りして完成です。

堅穴住居の周りには？

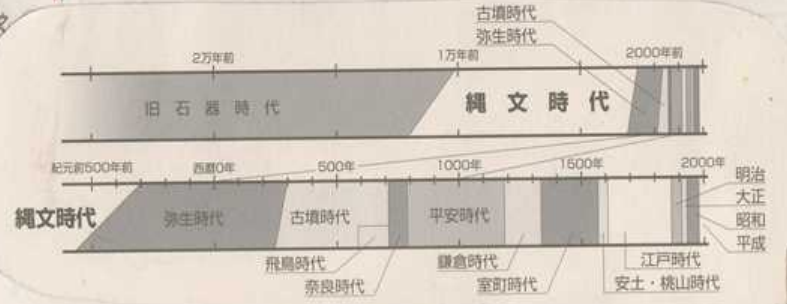
堅穴住居の周りには、いろいろな
 七くな、た人とうめる、縄文土器
 を作るために必要
 貯蔵する場所、食料にする動物を
 つかいつか、せい動物を食料にする
 をしぼって作った、生活のために欠
 かなあと思はました。

堅穴住居の中は？

堅穴住居に住んでいた人々は、クル
 ミや魚、キノコを食べて生活してい
 た時に出るけむりは虫よけ効果もあ
 りました。住居はとてむす、しくて
 住みやすそうに家を入り口か南
 側を向いていました。2人多くて5人
 まで住んでいたそうです。

縄文時代って何？

縄文時代とは、縄文土器を使っ
 ていた時代で紀元前
 一万三千年ごろか
 ら紀元前四世紀ご
 ろまで、長い間
 続いていたそう
 です。また、ムラを
 つくり、主に野山
 や川、海などの自
 然のめぐみを食べ
 るのしっていたそ
 うです。縄文の森
 九場にある「山
 田上/台遺跡」は
 およそ四千年前
 からあります。



縄文新聞

発行日 H28.6月22日

縄文人のくらし



私は縄文の森の展示室2でムラの模型を見て、縄文人が何をしていたのか、考えてみました。主に子供や、お母さん、おばあさんなどの女性には木の実をとったり、若草つみをするなどの動かない食べ物をたくわえたり、土器づくりをしたりしています。お父さんなどの男性は、狩りをしたり、魚をつつたりするなどの命のある食べ物をとってきいたり、力仕事をしたりしています。男女で差がありますね。

縄文の森広場にあるのは、山田上ノ台遺跡での遺跡はおよそ四千年前の遺跡だそうです。展示室では、様々な道具を使って縄文人はあなをほったり、木の実をすりつぶしたりして生活していたことが分かりました。

他にも、ハナチ、んというキャラクターの家が展示してあり、人々は木の実や鳥(キツ)、魚(サク)などを食べていたことが分かりました。展示室を見て私は、縄文人は自然の中でかきたれた道具を使い、工夫して生活していたことを知ることができました。



ハナちゃん

思い出に作った勾玉



勾玉作り

ペンで勾玉の形をかき、



ペンでかいた余白をけずる。



2枚目の紙やすりでつるつるにする。



洗ってひもを通して



完成

勾玉の作り方

①最初にペンで勾玉の形をつくりま

②ブロックで勾玉をけずったあとは、けずったところがざらざらになりなりました。

③勾玉の曲っているところはけずりにくいです。

④けずったら粉がついてけずれなから、ので水をつけながらけずります。

⑤仕上げに紙やすりでつるつるにしたり、ひもを通して完成です。

作ってみての感想
みんなそれぞれのかたちの勾玉をつくりました。つるつるにした勾玉を作るのができて楽しかったです。最初マツックで勾玉の形を石に書くと、あまり上手に書けませんでした。ブロックで石をけずるのは水をかけながらやると、手や勾玉の石がぬれてしまいました。へこみはけずるのは、そんなにむずかしくなかったです。最後に石の細いやすりでけずるのは、むずかしくなりましたが、楽しかったです。完成したことが大ホッでした。

くふうがいっぱい！ 竪穴住居



竪穴住居にはくふうがたくさんありました。南向きで光が入り、冬でも明るく、夏も涼しいです。土間は土で固めて、ほかに、虫が入ってこなかったり、すずしいなどの工夫があります。でもどこで寝るのか、という悩みも残りますが、アタカのベッドで寝ることが幸せなことのように感じました。これからは、この物にありがたみを持ち、くふうを大切にしていきたいです。

連坊新聞

発行日
平成28年
6月22日

縄文の森 広場へ ツギゴト

六月二十二日水曜日

日、私たちは「縄文の森広場」を見学させていただきました。行く前は先生に縄文の森広場の写真を見せてもらったりして、「(と)でもおもしろそうだな。(向玉作りってどんな感じなのかな)など」と、ツギゴトワワワドキドキしていました。授業では、縄文時代のことは少しも聞いていませんがよ

わしく色々なことがわかることかできれば良いなど、私たちの見学は始まりました。

向玉作り



向玉づくり、上手にできたね！
楽しかったな～



楽しかった 向玉づくり

縄文の森について、後、ぼくらがやったのは向玉づくりでした。石をけずったりみがいたりしました。担当の人がとても優しく教えてくれました。担当の人が教えてくれたようはやってみると、最初は向玉をけする石に当たってけがをしそうになりましたが、だんだん慣れてきてとてもきれいな向玉が完成しました。

たて穴住居の 中は

縄文ムラでは、たて穴住居のあじか見つかって、いま復元された一番大きなたて穴住居には2クラスも入ることができました。家の中に入ると入口はいろいろありました。家の中はうす暗くて、外よりすずしかったです。

このことから縄文人はいろいろな工夫を凝らしたと推察がりました。

たて穴住居 の中



たて穴住居の外

縄文時代の人はこうしてか りをしていたのか

縄文時代は穴をほってねん土をほったり、おとし穴をほって動物を、かたり、死んだ人を穴にうめておはかを作ったりしてました。さらに縄文人は穴を作ったりして生活のリズムを取っていました。

私の家族も、色々な工夫をして、くらしてたんだけ



おとし穴



かわいキヤリターの泉 の泉



模型



縄文人の模型

縄文人のくらし

展示室へ行ってみると、縄文人のくらしの模型がみえます。模型を見ると家の周りには、大人たちが土器焼かしていたり、老人と子供たちが若草つみをしていたりしています。

一方、森の中でお父さんたちが狩りして帰ってきたり、大きな模型にはかわいキヤリターが、縄文人のくらしが分かるです。